

● 全体会について

当会が「J」の表彰を授けられた。開会式に出席した7名が登壇した。副会長川島彰と後援記念撮影。今回の表彰は創立からの長きに渡る苦勞と実績のため。じから誇りに思う。初崎加代はこのおかげで舞臺に立てたことに感謝すると共に褒められた。おめでたい。おめでたい。おめでたい。大会の知らせも（100名分）、いとは聞いた。島根市長のお祝いのビデオメッセージなどもサプライズがあり、胸を熱くした。会員も多数いらした。自分も同感。記憶に残る喜びがあった。若い理事と部長が活躍していた。

● 分科会④ (「J」パーク温泉の多面的価値を知る)

下北文化会館の1F 21ホールにて判別共有型の分科会に参加した。5人のパネラー (湯沢・箱根・栗駒・樺島・青森) の個性的な魅力溢れる温泉の数々 (しかも多面的に) がとても楽しく、パネラー全員に称賛を拍手をおくる。後半の草木染め (実験) は瞬間がたつたに気がした。おんせんの色が下った。これにより、染めの色合いに影響がでるとの結果を全員が認識できた。これが思いの収穫だった。

● おもしろいお祭りマーケット

当会からは、手芸部会の作品を販売した。(「J」パーク内の道の景観保全・「J」パークの維持を促すため。横皮紙、編んだかごや、小物の販売) 今回は売れ上げが良かったとの報告で初崎加代は販売促進に貢献できたことを本当にうれしく思う。同時に対面販売の良さを痛感！人々とのコミュニケーションがたまり、その先にお買いあげいただく喜びは達成感がある。もっと創意工夫したいという声も聞いている。

さらに、おもしろい縁があったことを報告する。お市役所の子どもから、部の有志の方々が「お市のおもしろい原画のすばらしさ」を目を見張った。自身も「お市のおもしろい原画」の「おもしろい」を表現したいと発起した！ここで地元愛を感じることを感じた。(「J」パークの地域色をこの「おもしろい」)

• まとめ

初めてシボーク全国大会に参加した。下地の地元が隔世に感じられ
面白かった。

今回の大会のテーマは「海・大地・未来」をおさらいする。

①海 → 太平洋・津軽海峡・陸奥湾の性質。果ては海の囲まれ
た地形ゆえの豊かな海めぐり。

②大地 → シボークの本川地帯の自然と暮らし文化。

③未来 → 地質遺産や海を未来へつなぐため。子供たちは
何が生き残る？ 考えさせたい。

をくらしながら。子供たちが幼い時からシボークに溶け込む環境づくり
を大人がどれだけ準備し続けることができるか？ も自分ごととして考えたい。
このテーマは青森県知事・村市長の苦さあふく子供たちには
魅力を感じてほしい。

過去をどう受け継ぐ。自由な発想で人と人繋ぎ続ける。

下地シボークに思いを馳した。

おかげさまで。

榎本裕美